



パンデミックにおける 伝統医療フォーラム

【日時・会場】

令和4年 3月 12日（土） 13:50～17:00

横浜薬科大学 Leo Esaki記念ホール

【概要】

2020年3月に武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界に拡がり、未曾有のパンデミックとなった。わが国では欧米の報道が主として報じられる中、アジア諸国ではパンデミック早期から伝統医療を活用して対策に当たっている。しかし、本邦では明確な根拠が無ければ漢方薬を含む伝統医療は活用されないため、他国のような伝統医療による対策はほとんど見られなかった。そこで、本フォーラムでは各国における新型コロナウイルス感染症に対する伝統医療の活用例を報告し、伝統医療の活用による迅速なパンデミックへの対応を可能とする国際的な情報・研究ネットワークの構築を目指す。

【講演】

1. 演者：正山 征洋（日本語講演）

長崎国際大学 薬品資源学研究室 特任教授

座長：李 宜融

横浜薬科大学 薬用資源学研究室 教授

2. 演者：蘇 奕彰（英語講演）

台湾衛生福利部国家中医薬研究所 所長

座長：李 宜融

横浜薬科大学 薬用資源学研究室 教授

3. 演者：Arunporn Itharat, Ph.D（動画による英語講演）

Associate Professor, Department of Applied Thai Traditional Medicine, Faculty of Medicine and Director of Centre of Excellence in Applied Thai Traditional Medicine Research, Thammasat University, Thailand

座長：梅原 薫

横浜薬科大学 漢方天然物化学研究室 教授

4. 演者：Kuchta Kenny, Ph.D（日本語講演）

Professor, Forschungsstelle für Fernöstliche Medizin in the Department of Vegetation Analysis and Phytodiversity at the Albrecht von Haller Institute of Plant Sciences of the Georg August University Göttingen, Germany

座長：渡辺 賢治

横浜薬科大学 特別招聘教授

主催：横浜薬科大学「国際伝統医療 実行委員会」

委員：篠塚 達雄、梅原 薫、喻 静、李 宜融、高梨 馨太、渡辺 賢治

共催：横浜薬科大学 国際交流委員会、横浜薬科大学 浜薬研究会、

台湾衛生福利部国家中医薬研究所、Thammasat University（タイ）